



外国人のかみの毛やはだの色がちがうのはなぜ

体の中のメラニンのため

かみの毛やはだの色は、体の中にあるメラニンという、黒いしきそ(つぶ)の量によって決まります。メラニンは、強い光から体を守るはたらきをしています。

はだの黒い人(黒色人種)は、日差しの強い暑い国に住んでいる人に多く、はだにはたくさんメラニンがあって、強い日差しからはだを守っています。かみの毛も、黒くちぢれていて、強い日差しを防いでいます。

はだの白い人(白色人種)は、日差しの弱い、寒い国に住んでいる人に多く、日差しが弱いため、メラニンが少なく、はだも黒くなりません。かみの毛も、黒から金色や灰色・銀色で、灰色のかみの毛は、しらがのように見えますが、これは、メラニンが少ないためで、しらがではありません。

日本人のかみの毛やはだの色は

わたしたち日本人は、黄色人種とよばれ、体にメラニンがほどほどにあるため、はだの色は黄色から茶色の間くらいの色で、かみの毛の色は、黒から黒っぽいこげ茶色です。

(監修・保志 宏)

